

# 小規模企業景気動向調査

[令和元年8月期調査]

～消費税増税前の駆け込み需要があったものの、足踏み状態の小規模企業景況～

2019年10月1日  
全国商工会連合会

## <調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2019年8月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

## <産業全体> ◇…消費税増税前の駆け込み需要があったものの、足踏み状態の小規模企業景況…◇

8月期の小規模企業景気動向調査は、売上額DIこそわずかに改善したが、資金繰りDIがわずかに悪化、他2DIは不変であった。消費税増税まで約1カ月となり、耐久消費財を取り扱う小売業や大小問わず、建設業においては前回の引き上げ時ほどではないが、駆け込み需要が発生しているとの報告があった。一方で、事業者の税率引き上げや軽減税率制度導入に対する準備は進んでいるものの、まだまだ、対応できていない事業者も多く、キャッシュレス決済の導入も消極的との声があった。

## <製造業> ◇…猛暑で一部業種が好調も、貿易問題や働き方改革対応で先行き不透明な製造業…◇

製造業は業況IDこそ改善が見られたが、その他3DIは悪化した。昨年と同様、8月は猛暑日が多く、清涼飲料水や冷菓を取り扱う会社では好調が見られた。また、大手企業の設備入替サイクルに当たった企業では、売上が堅調に推移している。一方で、米中の貿易摩擦問題は長期化の様相を呈し、電子部品製造業や金属製品製造業においては、先行きの見通せない状況が続いている。また、働き方改革は従来の製造業の在り方を制限し、一部の業種では労働者の賃上げや有休消化による労働力確保に困難を来しているとのコメントが見られた。

## <建設業> ◇…駆け込み需要で受注が増加傾向も、機会損失が発生している建設業…◇

建設業は、採算DIがわずかに改善したが、他3DIは悪化した。資金繰りDIの悪化幅は、4.5ptと大きかった。経営指導員からは、前回のような大きなものではないが、増税前の駆け込み需要で内装工事業等の職別工事業や電気工事業等の設備工事業において、受注が増えてきている。しかし、受注が増えても対応できる作業員は少なく、下請・材料費の高騰や施工エリア拡大に伴う経費増加により、収益性は低下しているとのコメントが見られた。

## <小売業> ◇…猛暑や消費税増税に向けた駆け込み需要で大幅に改善した小売業…◇

小売業は、4全業種の中で唯一全DIが改善した。特に売上額DIが8.0ptと大幅に改善した。8月は猛暑が続いたことからスーパーやコンビニエンスストアでは、飲料や冷菓を中心に大きく売上が伸びた。また、消費税率引き上げに向け、エアコン等の耐久消費財の購入やトイレトーパーや洗剤などの生活必需品に買い溜めの動きが見られている。一方、8月下旬に発表されたレジ補助金の申請受付延長に安堵感が見られるも、軽減税率制度の導入への対応はまだまだ途上であり、一部の事業者に諦観の念さえ見られる。

## <サービス業> ◇…猛暑で観光関連が好調も、天候不順や経費の高騰により先行不安なサービス業…◇

サービス業は、先月から一転、業況DIと採算DIが小幅に悪化、売上額DIと資金繰りDIは先月と不変であった。8月は昨年同様、猛暑に見舞われ宿泊業や観光業で売上が伸びた。一方で、全国で相次ぐ台風や天候不順により海水浴客を中心に客足が鈍った地域もあった。また、天候不順により、食材の安定供給を妨げられ、人件費の高騰で採算の悪化が見られた。洗濯・クリーニング業では、日照不足で需要が伸びるところであるが、衣料品の消費サイクル短縮化により、業界全体で景況感が悪化しているとのコメントが寄せられた。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 12.8	▲ 10.9	1.9	▲ 9.5	▲ 9.6	▲ 0.1	4.3	4.2	▲ 0.1
採算	▲ 17.5	▲ 17.6	▲ 0.1	▲ 17.9	▲ 18.4	▲ 0.5	▲ 10.6	▲ 10.3	0.3
資金繰り	▲ 12.5	▲ 13.1	▲ 0.6	▲ 11.3	▲ 12.4	▲ 1.1	▲ 4.7	▲ 9.2	▲ 4.5
業況	▲ 16.2	▲ 16.5	▲ 0.3	▲ 17.7	▲ 16.1	1.6	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 0.8

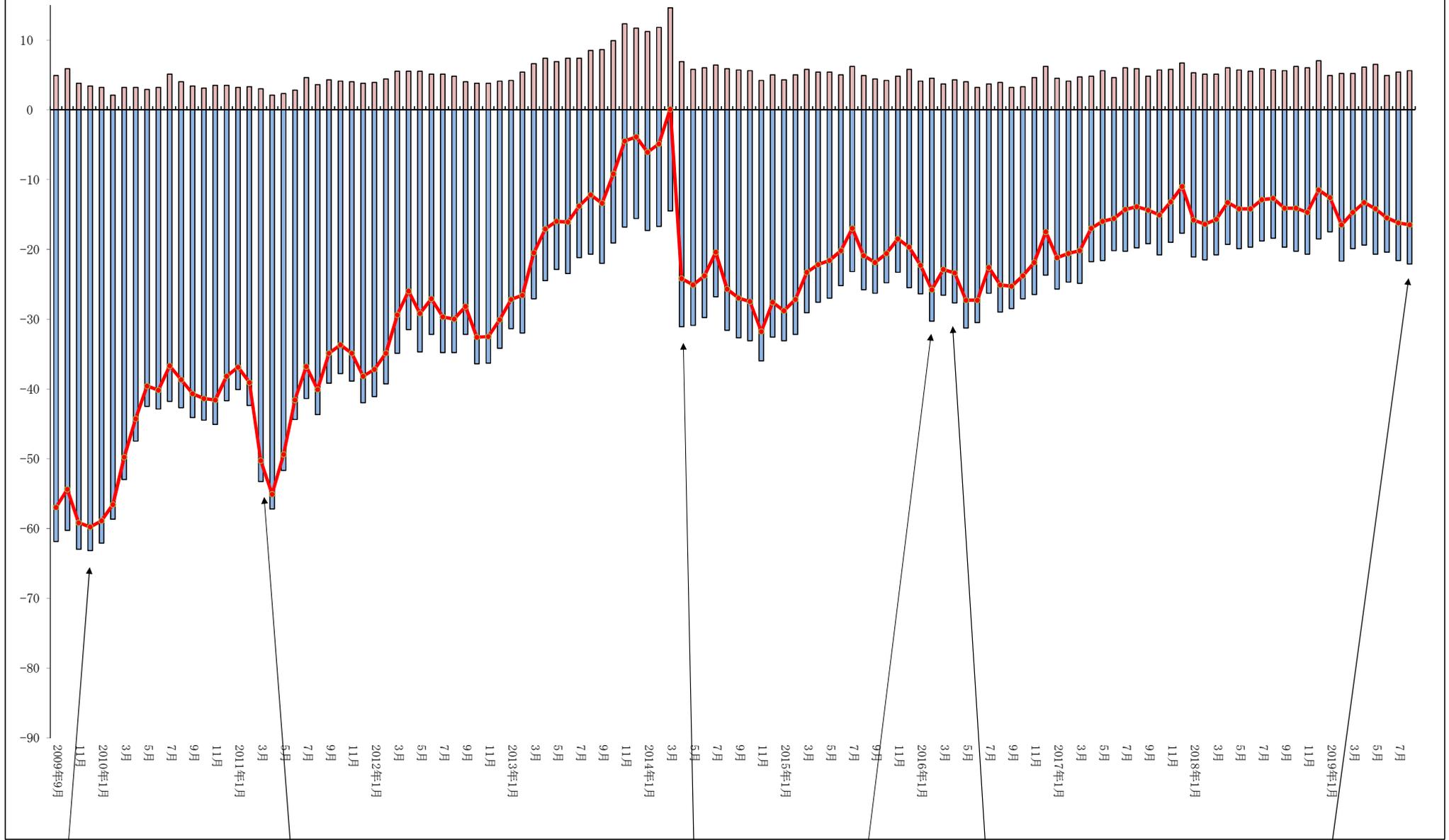
業種	小売業			サービス業		
	7月	8月	前月比	7月	8月	前月比
売上額	▲ 29.5	▲ 21.5	8.0	▲ 16.6	▲ 16.5	0.1
採算	▲ 26.8	▲ 25.3	1.5	▲ 14.5	▲ 16.5	▲ 2.0
資金繰り	▲ 21.8	▲ 19.1	2.7	▲ 12.0	▲ 11.9	0.1
業況	▲ 29.2	▲ 28.7	0.5	▲ 15.8	▲ 18.5	▲ 2.7

注) DI (景気動向指数) は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

# 小規模企業景気動向調査(月次)

## 産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化  
■好転  
●DI



10年1月  
過去10年間最低数値  
(-58.9)記録

11年3月  
東日本大震災

14年4月  
消費税率8%に引上げ

16年2月16日  
日銀マイナス金利導入

16年4月  
熊本地震

19年8月  
-16.5

## 小規模企業景気動向調査(8月期)における商工会経営指導員の主なコメント

\*コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

### 1. 景気全般

#### <改善傾向を示すコメント>

・熊本地震の復興事業も一段落した感がある。上天草地区は、春～秋の行楽シーズンが経済も活発である。大江戸温泉物語(天草ホテル亀屋)8月1日オープンや天草市崎津集落への観光客増加により飲食店やお土産品店は好影響が出ている。現在、金融機関の貸出態度は良いが、事業所は必要以上に融資を申し込んでいない状況。

(熊本県上天草市商工会)

・夏の暑さによりエアコン等耐久消費財の売上が伸びる。また10月からの消費税増税も要因と思われる。

(福島県会津美里町商工会)

・地域の全体的な経済状況はやや好転しているように感じる。金融機関の関しても積極的に融資を行っている。

最近では、軽減税率、キャッシュレスの対応に追われているが、積極的に活用する店舗が増えてきた。

(大分県玖珠町商工会)

・管内の建設業者は人手不足ではあるが、消費税の増税前であり受注が多くなっている。

(富山県富山市南商工会)

・10月に控える消費税増税のため、車販売や建物建築に関連のある会社は駆け込み需要がでている。金融機関の貸出態度に変化なし。

(兵庫県太子町商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・景気は不安定で回復傾向には至らない。軽減税率・キャッシュレスセミナー等開催しても反応なし。金融は、マル経・制度融資共にここ数年減少傾向で金融機関も困っている状況。

(茨城県日立市十王商工会)

・商品券を7月から総額2億円発行しており、多少経済の活性化が見受けられる。しかし、インターネットや近隣市町村へ消費流出も多く、廃業者が増加傾向である。

(熊本県芦北町商工会)

・増税前の駆け込み需要が多いと思われたが、そこまで売上増加になっていないようであった。仕入れに関しては、今から10月以降の値上げについて予告されている事業所も見られた。全体的に業況は悪化しているように感じた。

(秋田県潟上市商工会)

・猛暑、台風等の悪天候により、全業種において売上が減少となっている。特に、観光客をメインのサービス業においては、売上減少が顕著である。

(長崎県松浦市福鷹商工会)

令和元年8月前線に伴う大雨による災害により、地区内商工業者に浸水被害や油の流出被害が生じた。1m近く浸水した店舗もあり、復旧には数ヶ月かかる見込み。

(佐賀県武雄市商工会)

・製造業において、食料品は例年通りで推移しているが、軽減税率・新食品表示への対応が課題となっており、今後混乱が予想される。機械金属においては、例年並みで推移しているが、業界全体では減少傾向となっている。繊維工業においては高齢化・廃業が課題。建設業において、受注は多いが人手不足感が続く。小売業において、高齢者が多い当地域では消費税の駆け込み需要は感じられず、キャッシュレス導入についても消極的な店が多い。サービス業において、台風の影響があったものの、観光入込客増によって好調であった。

(京都府京丹後市商工会)

### 2. 製造業

#### <改善傾向を示すコメント>

・照明器具関連の製造業は、設備の不足、老朽化に伴い、新しい設備の導入を計画されている事業所もある。

(兵庫県丹波市商工会)

・製造業については、町外事業者からの受注、特にプラント関係の受注が堅調に推移している。ただし、人手不足の課題は根深く、商工会としても人材セミナーの実施や、県施策の活用を促している。

(千葉県大多喜町商工会)

・食料品製造…大きな変化はなく、例年通りの状況。一方、食料品製造業の業界の業況であるが、人口減少の影響からどこも業況悪化の傾向にあるという。8月はお盆があつて一時的に売上が上がっただけで楽観視出来ない、との話であった。

繊維工業…業況は活発であり、受注も安定している。

機械・金属…春先以降の低迷期から脱却し始め、受注は上向きとなっている。お盆前後は短納期案件に振り回されたが、単月で見れば前年同等で終わる見込み。年内の受注情報は多く、体制強化している。

(秋田県由利本荘市商工会)

・ミネラルウォーターの県内生産量、国産ぶどうのワイン需要、ワインビネガー及びワインネガー商品需要は増加傾向で推移。

ニット製品の受注は低調、織物の受注・生産は弱含みで特に雨用製品は天候に影響を受けた。

情報通信機械は、工作機械需要の落ち込みを受け減少傾向。半導体装置は受注・生産の減少が続いている。自動車部品や車載向け部品の需要、硬調を維持している。

(山梨県山梨市商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・電子部品製造関連の製造業は、引き合い件数は多いものの、受注に結び付かないため、売上げが減少した。また、米中貿易摩擦による半導体の低迷が、経営に大きく影響しているため、早期回復を望んでいる。

(長野県泰阜村商工会)

・金属加工関連の製造業は各事業所の企業努力によって売上げを維持しているが、今後は不安定な海外情勢の影響により受注の縮小が危惧される。

(新潟県寺泊町商工会)

・食料品関連の製造業は働き方改革による賃上げ、有給消化、経費増加となっている。原材料の上昇も厳しく、来年度は商品単価のアップをするしかない。

(福井県福井北商工会)

繊維製造関係はかなり悪く、回復の目途が立たない状況が続いている。機械金属業は既存部品の発注のみで、新製品用部品が出てこない状況でメーカーの新製品の市場投入が少なくなっている状況。

(滋賀県野洲市商工会)

・イカ・アジ・サバ・海草など水産加工用の主要魚種の漁獲量が依然として減少しており、取扱い事業者各社ともに原料確保に苦慮している。

(長崎県対馬市商工会)

・金属加工業については、自社努力ではどうにもならない外部要因でのマイナスが影響を及ぼしている(国際関係、為替)。自社で新しい取り組みをして売上げを確保する努力をしているが、悪化のスピードについていけない。繊維関係については、付加価値を付けた製品を提供することで好調な事業もある。全体的に、資材高騰しているうえに、人件費の高騰などにより利幅が大きく減少している傾向がある。

(茨城県つくばみらい市商工会)

### 3. 建設業

#### <改善傾向を示すコメント>

・電気工事関連の建設業は、受注はこれ以上ないくらい入ってきているが、下請・材料費の高騰により、今後の見通しは不明。

(兵庫県太子町商工会)

・建設関連は、ここに来て増税前の駆け込み受注が増えている。建設関連業者からの、請負工事の税率に関する相談も増えてきた。

(栃木県大平町商工会)

・内装建具塗装業では、ホームページを設けて個人からの受注を増やしている事業所もある。  
・建築業では、マンションなどの改修が増え受注が増加している

(香川県高松市中央商工会)

・建設関連工事は4月以降、公共工事等の受注高などで前年比を上回るなど、好調を維持している。住宅着工数が伸びない状況が長期慢性化となっており、消費停滞が改善されないままである。リフォーム分野において消費税増税前の契約増が見られた。猛暑が続いた関係でエアコン設置工事の需要高となり電気工事関連は好調となった。

(兵庫県川西市商工会)

・電気設備関連の建設業は、化学工業メーカーから安定した受注が入り好転している。

(埼玉県吉見町商工会)

・10月からの消費税増税による駆け込みの注文があり売上げの増加につながっている。

(岡山県浅口商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・三隣亡の影響か、新築減少。消費増税前の駆け込み需要で、リフォーム(風呂・トイレ含む)増加、人員不足によるチャンスロス。

(山形県尾花沢市商工会)

・消費税増税前のかけこみ需要で小規模な改装工事等の受注等が多くなっているが、消費税増税後の10月は反動で受注が少ない状況となっている。

(福島県北塩原村商工会)

・先月の長梅雨が一転して猛暑で降雨が少なかったことから、屋外作業の業種を中心に作業が順調に進み先月より好転したようである。ただし景況が好転したわけではない。

(新潟県妙高高原商工会)

・単月の売上は減少しているが、昨年度と同等の決算となる見込み。災害工事が2件完工するが、まだまだ工事は多い。人手は不足しているが、工事が無くなったときのことを考えると安易に増強できない。

(京都府京丹後市商工会)

・公共工事は道路網関係を中心に堅調に推移しているものの、個人の戸建住宅の受注状況は芳しくない。消費税の駆け込みが前回増税時に比べれば大きく縮小している印象。

(千葉県大多喜町商工会)

・受注は安定しているものの施工エリアが拡大し、経費がかかるため収益性が低下している。

(岡山県作州津山商工会)

### 4. 小売業

#### <改善傾向を示すコメント>

・小売業に関しては消費税の転嫁対策に追われている。  
増税まで一か月となり、危機感が出てきたのか相談者が多くなっている。

(大分県玖珠町商工会)

・衣料品:お盆がある8月が毎年売上が下降気味である。9月には問屋の展示会等があり売上増加が期待できる。  
食料品:日々製造販売の(惣菜・弁当)は好調。飲食全般の売上等、前期対比で大きな変化は見られず。  
夏季に入り(猛暑が続く)、仕出しには細心の注意を払うも需要は下がった。資金繰りも乗り切れた。  
耐久消費財:過去のお客様からの受注が増え、売上が急増した。エアコン等需要も多かった。消費増税前の駆け込み需要の効果と考えており、10月以降の落ち込みが心配である。

(岡山県みまさか商工会)

・スーパーやコンビニなどでは、猛暑続きで、飲料品を中心に冷製品の売上が大きくうごくなど前月に続き、売上は前年比を10%程度増加を見せたところが多く見られた。小売業では総じて前年比微増の売上を維持している。先行きについては、原材料の価格上昇や人手不足などに注視している。

(兵庫県川西市商工会)

・消費税率アップの影響が徐々に現れ生活必需品の買い溜めが見え始めた。高齢化の影響で食料品の配達頻度が増えてきている。

(栃木県那須烏山商工会)

#### <悪化傾向を示すコメント>

・家電等ではエアコン工事などの需要は例年並みにあったものの、土産物店などを含めた食料品小売は観光客減少の影響が大きい。

(静岡県南伊豆町商工会)

・消費税増税に伴う複数税率がレジ、管理システム等に与える影響が大きいようで、10月1日直前という事で昨年見込みの際には100万円だったシステム更新料が最近では200万円超でなければ受けられないとなっているケースがある。ただ単に複数税率に対応するだけの事なのに、数百万円の費用負担が必要となっており、今後は消費税増税に伴う影響を注視する必要があると思われる。

(熊本県熊本市城南商工会)

・小売業全般において、消費低迷、大型店流出の影響により売上は減少しており、回復の見込みがない。多くの小売業が10月からの消費増税に向けた価格転嫁ができる状況ではない。  
(長崎県松浦市福鷹商工会)

・衣料は依然厳しい業況化にある。  
食料品はお盆時期に台風の影響で売り上げ減となった。  
耐久消費財はタイヤ、バッテリーが値上がりした。  
周辺の比較的大きな自動車屋が大手(オートバックス・ホンダ滋賀)に買収され、社名はそのままである。  
(滋賀県野洲市商工会)

・食料品関連の小売業は、収穫前に売買契約がなされていない米は市場に出さず政府備蓄米にしろという秋田県の方針がたいへんうるさい。  
耐久消費財関連の小売業は、9月の地域スーパーの閉店により、客数が減少する見込み。年内はテナントで継続して営業する予定。  
(秋田県かづの商工会)

## 5. サービス業

### <改善傾向を示すコメント>

・基幹産業である観光サービス業が活性化している状況であり、旅館ホテル・飲食業も良い影響を受けていると思われる。  
(熊本県上天草市商工会)

・夏休みのイベント等で、コンビニ業界は業況が回復している。特に飲料水の売上が顕著に伸びている。  
(宮崎県佐土原町商工会)

・宿泊業や観光ガイドなど、観光関連業種について、年々増える観光客の恩恵を受けて好調である。  
(鹿児島県あまみ商工会)

・宿泊業については、先月に引き続いて大学サークル等の利用があり、繁忙期を迎えている。  
(千葉県南房総市内房商工会)

・理美容業は、暑さのため顧客増加に繋がったとのこと。加えて、ひんやりシャンプーなどオプションの注文が増えたことも売上増加に繋がった。  
(宮城県遠田商工会)

### <悪化傾向を示すコメント>

・介護関連のある事業所は、介護士等の資格保有者が集まらず、サービスへの需要があるにもかかわらず利用者を呼び込めない状態にある。  
(千葉県印西市商工会)

・7月に引き続き、稼ぎ時であるお盆期間の台風余波で海水浴客が大幅減少。観光中心の町であり他業種にも影響あり。  
(静岡県南伊豆町商工会)

・特に宿泊業においては、長雨が続いた前月7月からの傾向を引きずっている印象も、かきいれどきの夏休みに例年並みの売上が立てられなかった事業所が多く見受けられる。  
比較的、飲食業の事業所からは消費増税に係る相談が多く、軽減税率の対策に併せ、転嫁対策を講じる事業所を支援する機会が増えている。  
(千葉県大多喜町商工会)

・地域的に観光シーズン中に天候不順が多く客足が止まった。また材料や人件費等の経費増を転嫁できず採算悪化の傾向にある。  
(山梨県山梨市商工会)

・洗濯サービス業については、消費者の動向として各家庭内の洗いざらし品の購入が増えており、業界全体として景況は悪化していることが伺える。  
(栃木県那須烏山商工会)

・旅館業では仕入価格が徐々に上昇して採算が悪化している。  
クリーニング店では大手クリーニング店が6割引の価格で販売する等、近年で業界の業況は最も悪く感じる。  
美容業はこの時期は前年と変化がない。  
(岡山県備前東商工会)